

[別紙⑧]

(1) 授業の流れ

① めあてを知る。

T：今日はみんなの好きなものについて学習します。みんなの好きな色は何ですか。

C：赤です。青です。紫です。

T：みんなの好きな色は何ですか。

C：鬼滅の服です。恐竜の服です。

T：好きなキャラクターは何ですか。

C：ミッフィーです。フォートナイトです。

T：みんなは好きなものがたくさんあって素敵ですね。じゃあ、みんなの好きなものを全部集めて1つの紙に表したら楽しそうじゃないですか。今日はみんなでやってみようと思います。めあてを読みましょう。

② 好きなもののシールを貼って好きなものを交流する。

T：シールとワークシートを配ります。自分が好きなものを選んでワークシートに貼りましょう。貼れた人は、自分の好きな色を塗ったり、好きなものを書き足したりしましょう。

《8分》

T：次は班ごとに発表します。椅子だけ移動させて集まりましょう。自分の好きなものを1つだけ選んで、「野球とサッカーが好きです。わけは、かっこいいからです。」というように言ってください。

好きなもののシールを貼る



《5分》

T：みんなの前で発表してくれる人はいますか。

C：ぼくはウルトラマンが好きです。ビームを出すから。

C：お花が好きです。きれいだから。

C：うさぎが好きです。おなかが白くてさわれるから。

③ 好きなものを表現することについて考える。

T：みんなの好きなものがよく分かりました。先生もみんなと同じくらいの歳の時、好きなものがいっぱいありました。何だと思いますか。

C：野球。虫。ドラゴンボール。

T：①野球、②恐竜、③昆虫、④プリキュアです。これを聞いてどう思いましたか。

C：プリキュアって女だけじゃなくて男も見る。

C：プリキュアをかわいって言う人もいる。プリキュアが好きなんやって思った。

T：プリキュアって言ったとき「えー。」って言っていたよね。

C：先生はドラゴンボールが好きそうやなあって思った。プリキュアって女の子が好きそうなものだから。

C：まさかと思った。男の子はあんまりプリキュアに興味がないから見んと思った。

T：「男の子はプリキュアを見たらだめ」って決まっているのかな？

C：男の子やからとか女の子やからとか、男の子が好きそうなものとかは、イメージやから女の子が恐竜好きとか男の子が恐竜好きでもいい。

C：男女関係ないです。

T：どうして関係ないのかな。

C：決まってないから、男の子がプリキュア好きでも、女の子が恐竜好きでもいい。

C：〇〇さんが言ったように男の子と女の子は関係ないと思います。

T：先生ね、昔プリキュアが好きって言ったら、「へん。」と言われました。「えー」とか「へんだよ。」じゃなくてみんなが言ってくれたような「男の子、女の子関係ないよ。」と言ってくれたらうれしいな。こんなにうれしい言葉を言ってくれるなら、先生の昔の友だちの中にみんながいてくれたらよかったなあ。

班で好きなものを発表する



④ 今日の学習をふり返る。

- T：今からもう一度シールを貼っていい時間にします。自分が本当は好きだなんて思うものを貼りましょう。
- T：増やしたものを発表してくれる人？
- C：ウルトラマンです。なぜかという、かっこいいからです。
- C：わたしは虫を貼りました。虫が好きで、クワガタとかかっこいいから。
- T：どうして最初は、貼らなかったのかな？
- C：男の子のやから変かなくて。
- T：〇〇さんが虫好きなのは変かな？
- C：変じゃない！
- T：今日知ったこととても大切なことでしたね。これからもいっしょに好きなものが好きと言えるような学級にしていきたいと思います。

児童の振り返り

- ・男の子、女の子ということで決めつけるのはよくないなあと思いました。
- ・最初は、女の子だから野球や恐竜や妖怪ウォッチを貼れなかったけど、みんなと話をして、女の子が好きでもおかしくないと思って貼れたのでよかったです。
- ・女の子はプリキュアって決まっているのかなと思っていたけど、どっちでもいいと今日知ったからよかったですと思いました。

(2) 板書



(3) 授業を終えて

本学年の児童は、男女の固定された価値観が強く、事前アンケート（聞き取り）の中でも男女イメージがはっきりと分かれ、授業の初めにも「男らしいなあ。女らしいなあ。」という発言もあった。しかし、この授業の後半では、授業の初めでは貼れなかった好きなものが貼れた児童がいたり、「男のもの」と発言していた児童が「男とか女とか関係ない。」と言えていたりしていたので良かった。これからも、学校生活の中で「男が」「女が」というような場面があれば、「前に勉強したよね。」と結びつけていけると思う。また、今回扱ったことはこの授業だけで変わることはないの、男だから、女だからという感覚をこれから少しずつでもなくし、一人ひとりが好きなものを言っていていいという感覚になっていけたらと思う。

ワークシート

シール

全体場で好きなものを発表する

